

| | | | | | |
|---|---|---------------------------|---------------------------|------------|------|
| 日本工学院専門学校 | 開講年度 | 2020年度 | 科目名 | ゲームライティング1 | |
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 開設学科 | ゲームクリエイター科四年制 | コース名 | ゲームプランナーコース | 開設期 | 前期 |
| 対象年次 | 2年次 | 科目区分 | 選択 | 時間数 | 30時間 |
| 単位数 | 1単位 | | | 授業形態 | 講義 |
| 教科書/教材 | 毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。 | | | | |
| 担当教員情報 | | | | | |
| 担当教員 | 関 智 | 実務経験の有無・職種 | 有・ゲームプランナー | | |
| 学習目的 | | | | | |
| この科目を受講する学生は、コンテンツ制作・ゲーム制作においてストーリーおよびライティングの技術の重要性を理解し、これまで体験してきたものと一線を画するプロを意識した物語制作を志向する意識を持てるようになる。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| この科目では、コンテンツ制作において物語作りの重要性を理解して、学生が、自らが考えてオリジナル・シナリオを書き上げることを目標とする。 | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | |
| 授業概要 | この授業では、基礎知識から、具体的な書き方を実習的に学ぶようにする。ゲーム、映像作品などコンテンツのシナリオ・ライティングのノウハウを知り、自らの技能とし、実践的に物語を書けるようにする。 | | | | |
| 注意点 | この授業では、授業中に制作した成果物を重視する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、プランナーに必要な作品を説明するプレゼン能力も必要とする。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。 | | | | |
| 評価方法 | 種別 | 割合 | 備 考 | | |
| | 試験・課題 | 60% | 試験と課題を総合的に評価する | | |
| | 成果発表 (口頭・実技) | 25% | 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する | | |
| | 平常点 | 15% | 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する | | |
| 授業計画 (1回～12回) | | | | | |
| 回 | 授業内容 | 各回の到達目標 | | | |
| 1回 | シナリオと小説 | 小説とシナリオの違いを理解し、シナリオの意味を知る | | | |
| 2回 | 物語の成り立ちと構成① | 物語の作りを学び書き方を学ぶ | | | |
| 3回 | 物語の成り立ちと構成② | 物語の作り方を学び、書き方について深く学ぶ | | | |
| 4回 | ピクサーに学ぶ作劇術 | 現代の作劇の王者、ピクサーから物語の秘訣を学ぶ | | | |
| 5回 | ハリウッド映画に学ぶ作劇塾 | ノンストップアクションの王者ハリウッドの作劇を学ぶ | | | |
| 6回 | ライティングの基本と発想法① | シナリオの基礎知識を学ぶ | | | |
| 7回 | ライティングの基本と発想法② | シナリオの基礎知識と書き方を理解する<基礎編> | | | |
| 8回 | ライティングの基本と発想法③ | シナリオの基礎知識と書き方を理解する<応用編> | | | |
| 9回 | シナリオを書いてみよう① | 見本を元に自分でシナリオを書く<基礎編> | | | |
| 10回 | シナリオを書いてみよう② | 見本を元に自分でシナリオを書く<応用編> | | | |
| 11回 | オリジナル・シナリオを書いてみよう① | オリジナルシナリオで世界観の把握を学ぶ<基礎編> | | | |
| 12回 | オリジナル・シナリオを書いてみよう② | オリジナルシナリオで世界観の把握を学ぶ<応用編> | | | |